

# 興譲館野球部OB会

第31号

- 発行日／令和3年12月10日(金)
- 発行者／遠藤 敬
- 発行所／〒992-0054  
米沢市城西4-4-16  
井上 恵男
- 印刷／株羽陽印刷  
☎ 0238 (23) 0467



会報  
31号に  
寄せて

(昭和47年度卒)

興譲館野球部OB会

会長 遠 藤 敬

会員の皆様におかれましては、ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

本年も昨年同様、コロナに明け暮れた一年になろうとしています。ワクチン接種が進み十月には緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が全面解除になりました。緊急事態宣言解除に伴い、停滞した経済の回復・再生に向けての動きも徐々に表われてきました。重苦しいコロナ禍ではありませんが、スポーツに関しては、新

東京オリンピック開催により、野球日本代表が決勝戦で米国を2対0で制し、公開競技だったロサンゼルス大会以来37年ぶりの悲願の金メダルを獲得しました。

高校野球では前年中止となつた春の選抜高等学校野球大会、夏の全国高校野球選手権大会の春・夏の甲子園大会が開催されました。

また、MLBメジャーリーグのエンゼルス大谷翔平投手(打者)による、ペブルース以来の投打「二刀流」での大活躍によるMVP獲得など、野球ファンには嬉しい楽しい話題が多数ありました。

三回目のワクチン接種計画が政府から発表されるなど、感染収束に向けて動いてはいるものの、まだまだ基本的対策「密閉」が密接」の三密は避け続けていく必要があります。

さて、野球部OB会会報第31号発刊となりました。毎号とも、会員皆様のご協力により内容のある会報になってています。OB会活動としては、昨年同様感染防止策の三密を避けるため、役員会、総会、OB会と現役部員との交流行事、その他会議等、全て自粛せざるをえない状況で、一年を経過しようとしています。しかしながら、昨年から記念事業としてはじめた、新入部員への試合用ユニフォーム

の贈呈や従来からの野球部活動等は、着実に実行しています。本年も8月のOB会総会は開催を自肅いたしましたので、「令和2年度決算」「令和3年度予算及び特別会計」は、会報記載での書面承認としていただきたくお願い申し上げます。野球部創設120周年の記念タオル作成と、マスターズ甲子園への参加は、継続事業としてコロナ禍収束後の関係会議にて、取扱いを検討していきたいと考えています。

興譲館野球部の戦績は、春季大会は置賜地区予選を勝ち抜き、県大会一回戦で山形工業高に惜敗しました。夏の甲子園山形大会は、一回戦置賜農業高に大勝したもの、二回戦の米沢工業高には敗れてしましました。秋季大会は、置賜地区予選で米沢東高、長井高、南陽高から勝利し、県大会へ進めましたが、一回戦の山形学院高に敗れました。興譲館野球部は置賜地区では安定した実力を見せてはいるものの、県大会でなかなか勝利を手にできません。OB会としてもバツクアップに力を入れていきたいと感じています。

最後に厳しい寒さに向いコロナウイルス感染拡大第六波が心配されますが、令和4年こそはOB会活動も平常に戻り、会員の皆様とお会いできることを願っております。会員の皆様には引き続き多方面でのご協力と年会費の納入をお願い申し上げます。

## ごあいさつ

校長 曽根伸之

米沢興譲館野球部OB会会報の発行にあたり、一言ご挨拶を申上げます。OB会諸兄におかれましては、平素より、本校教育活動への深いご理解のもと、本校野球部の活動の活性化に向け、物心両面のご支援と、協力をいたたいておりますことに、改めまして、心よりのお礼申し上げます。

今春、母校米沢興譲館高等学校に着任させていただき、未だわざかな時間しか経過しておりませんが、O.P.の皆様との再会、そして、叱咤激励の機会を賜り、身の引き締まる思いです。特に、野球部の君の戦いぶりを、グランドの陰から、また、スタンドから見守つておりました際に、OBの皆様へ併せて保護者も兼ねた卒業生の皆様の熱い応援ぶりを拝見した際は、興譲館に戻ってきてよかったです。心から感じることのできた瞬間でありました。

本校で開催した春の山形東高校との定期戦では、長年山東野球部顧問を務められており、山南OBである先輩教員との野球談議に、が咲きました。定期戦の歴史や、夏の甲子園予選で、後に広島東洋カープに入団した滝口投手擁する山形南と本校が激戦を演じた、私が高校1年の夏の思い出を、丘いが南校応援団の一員としてスタンドから見守った記憶を紡ぎ、あの気力漲る戦いの一枚マーコマを懐かしく語り合いました。

私のみなみ、高校野球ならではの気力漲る戦いの一枚マーコマを懐かしく語り合いました。時代の記憶が、野球部の皆さんの活躍とともに、興譲館生のみの心に、しっかりと刻まれていると確信する次第です。

さて、本年度、野球部諸君は、春季大会1次予選で九里学園に惜敗したものの、県大会出場を果たしましたが、今春の実力校の一つでした。夏の大会では、置賜地区同士の対戦となり、置賜農大5回戻りのリードを受け、声をかけ、叩

出はなりませんでした。3年生諸君を中心、各ポジション、打線を抱う一人ひとりの選手が、己の役割をよく理解し、ケートムに貢献できていることから、上位校と対戦したとしても、巧みに、十分に戦えてくれるだろう、楽しみなチークだと拝見していましたので、その途上で退かざるを得なかつたことは、残念でした。しかし、一方で、一つ一つのプレーに全力で向かっていった選手諸君は、もう少し残るチームであつたと信じております。

このこと、応援いたないた保護者として、OBの皆様においても、心に残るチームであつたと信じております。これをしっかりと支えてくれた女子マネージャーさんの存在が大きかつたことも申し添えます。

新人チームは、正捕手をはじめ、レギュラーフォーマーの2年生も残り、また、3年生の後を補うのが楽しめない、2年生選手がたくさんおりました。夏休み以来、その成長に注目しておりますが、今後は、個々の技能の向上はもとより、どんな相手に対しても、試合の流れを味方ベンチに引き寄せることができるのは、その好調だった相手校の30年以上前の記憶が体に染みついていることを実感した時間もありました。

本校で開催した春の山形東高校との定期戦では、長年山東野球部顧問を務められており、山南OBである先輩教員との野球談議に、が咲きました。定期戦の歴史や、夏の甲子園予選で、後に広島東洋カープに入団した滝口投手擁する山形南と本校が激戦を演じた、私が高校1年の夏の思い出を、丘いが南校応援団の一員としてスタンドから見守った記憶を紡ぎ、あの気力漲る戦いの一枚マーコマを懐かしく語り合いました。

私のみなみ、高校野球ならではの気力漲る戦いの一枚マーコマを懐かしく語り合いました。時代の記憶が、野球部の皆さんの活躍とともに、興譲館生のみの心に、しっかりと刻まれていると確信する次第です。

さて、本年度、野球部諸君は、春季大会1次予選で九里学園に惜敗したものの、県大会出場を果たしましたが、今春の実力校の一つでした。夏の大会では、置賜地区同士の対戦となり、置賜農大5回戻りのリードを受け、声をかけ、叩

出はなりませんでした。3年生諸君を中心、各ポジション、打線を抱う一人ひとりの選手が、己の役割をよく理解し、ケートムに貢献できていることから、上位校と対戦したとしても、巧みに、十分に戦えてくれるだろう、楽しみなチークだと拝見していましたので、その途上で退かざるを得なかつたことは、残念でした。しかし、一方で、一つ一つのプレーに全力で向かっていった選手諸君は、もう少し残るチームであつたと信じております。これをしっかりと支えてくれた女子マネージャーさんの存在が大きかつたことも申し添えます。

このこと、応援いたないた保護者として、OBの皆様においても、心に残るチームであつたと信じております。これをしっかりと支えてくれた女子マネージャーさんの存在が大きかつたことも申し添えます。

新人チームは、正捕手をはじめ、レギュラーフォーマーの2年生も残り、また、3年生の後を補うのが楽しめない、2年生選手がたくさんおりました。夏休み以来、その成長に注目しておりますが、今後は、個々の技能の向上はもとより、どんな相手に対しても、試合の流れを味方ベンチに引き寄せることができるのは、その好調だった相手校の30年以上前の記憶が体に染みついていることを実感した時間もありました。

本校で開催した春の山形東高校との定期戦では、長年山東野球部顧問を務められており、山南OBである先輩教員との野球談議に、が咲きました。定期戦の歴史や、夏の甲子園予選で、後に広島東洋カープに入団した滝口投手擁する山形南と本校が激戦を演じた、私が高校1年の夏の思い出を、丘いが南校応援団の一員としてスタンドから見守った記憶を紡ぎ、あの気力漲る戦いの一枚マーコマを懐かしく語り合いました。

私のみなみ、高校野球ならではの気力漲る戦いの一枚マーコマを懐かしく語り合いました。時代の記憶が、野球部の皆さんの活躍とともに、興譲館生のみの心に、しっかりと刻まれていると確信する次第です。

さて、本年度、野球部諸君は、春季大会1次予選で九里学園に惜敗したものの、県大会出場を果たしましたが、今春の実力校の一つでした。夏の大会では、置賜地区同士の対戦となり、置賜農大5回戻りのリードを受け、声をかけ、叩



## 野球とともに

(平成4年卒)

土田知良

興譲館を卒業して30年、中学校の教員として採用となり、4校で計13年間野球部の顧問として野球に携わり、今まで多くの時間をグランドで過ごしてきました。現在は教頭となりましたので、グランドに立つ機会はほとんどありません。しかし、野球を通して学んだことは非常に多く、今でも日々語られる「チームワークの大切さ」は、社会人として生きる上での組織的な対応や危機管理に直結するものです。元P.L.S.学園野球部監督の中村順司氏が色紙に書かれる「球道即人道」を管理職となつた今再認識し、野球で培われる能力がいかに汎用的なものであるかを、日々の生活から実感しています。

コロナ禍により、日常生活が大きく変化しました。私が勤務する中学校も例外なく、毎日の検温に三密の回避、様々な行事や活動が中止、延期になっています。中止延期についても、対外試合や活動時間の制限、大会の中止が相次ぎ、たった2年数か月間しかない部活動の期間をさらに縮め、皆が満足のいく活動にはなっていません。さらには、「働き方改革」の影響もあり、昔のように生徒が朝から晩まで学校のグランドで過ごすような部活動はできない状況となりました。そういう活動をしてきた私自身には寂しさもありますが、生徒や家族、関わる教職員それぞれの生活に余裕を持たせることは、生活の満足度を高めるうえでとても重要なことであると感じています。反面、挑戦と失敗を繰り返すことができる部活動は、心身共に成長する中学生にとって、かけがえのない時間であるとも感じています。「失敗を恐れず」「勇

気をもつて」「思いつきりやつてみる」。フレーズとしては何となく理解できるものの、実際に行動を起こすとすると、なかなか試す場所がないのではないか

やであります。しかし、野球では、そこら中にチャンスが溢れています。指導者が「やつてみないと、わからぬんだろう」「さあ、試してごらん」と言える環境、そして生徒が「やつてみよう」と試みる機会に溢れていることも野球の魅力の1つだと思います。また、基本的には投手対打者の個人戦の積み重ねという特性、本的には戦の積み重ねといふ特性、も個々の能力向上に果たす役割は大きいのだと思

います。

くり、大変申し訳なく思

めることがあるということです。長いスライダーや変化球も長打にできる。いつも通りのプレーが全国の舞台でもできる。そのためには、目標と到達点を皆で共有し取り組むこと。そして、実戦なしでも実力を高めることができるように、日々の練習の中での工夫と想像力を高めることが大切だと思いま

す。

現時は、中学校の教員として野球部の指導を行っています。指導を受ける側からする側となり、改めて学

生時代に指導してくださった先生方、支えていたいたいOB会の皆様のありがたさを実感しております。

刻々と変わる教育の環境下で頭を悩ますこともあります。ですが、今も昔も変わらないのは、学生が自分達の好きなことに没頭できる環境を周りの方々が必ず作ってくれているということです。学生時代はやつてもらつて当たり前と思うことも、必ず誰かが支えてくれています。結びに、世界中のコロナ禍の収束と興譲館高等学校野球部の益々の隆盛、そして野球部OB会の皆様のご多幸を心よりお祈りいたします。

今後も、無限の可能性を秘めた子供たちの成長を支え、再びの大舞台を目指して力を尽くしていきたいと思います。結びに、世界中のコロナ禍の収束と興譲館高等学校野球部の益々の隆盛、そして野球部OB会の皆様のご多幸を心よりお祈りいたします。

2012年3月、米沢市

中学校選抜を率いての全国

大会(第3回文部科学大臣

杯)では、広島、兵庫に勝ち、東京のチームとの準々決勝では、特別延長の末に

サヨナラ負けしたものの全

国ベスト8。その時の経験

## 指導する立場

(平成14年度卒)

石黒修平

学び舎を離れ、早20年となりました。卒業して数年は、何度も母校を訪問させさせていただきましたが、最近はほとんど訪れることがない

高校野球を見ると、いる学校も多くなってきました(中学野球はもとと深刻かもしれません)。野球人口が減少する中、野球部の存在意義を考えることが多くなりました。勝利を目指すことはその時にしかできない素晴らしい経験で

す。しかし、その時間の中で何を身に付け、将来にどう生かすか。指導者として外してはならない視点だと思います。勝つことにとらわれ仲間を大切にしない野球部や地域に貢献できない野球部に存在意義はありません。

部員が減少している今だからこそ、一人一人と向き合い、野球という競技を通して素敵な大人に育てることを今まで以上に真剣に考えていかなければならぬないと感じています。

後輩たちも、高校野球を通して大きく成長していることと思います。私自身、高校野球から学ぶことが多く、私の財産であります。

指導する立場となつたことで、学んだことを後

世の球児に伝える責任もあるのではと考えるようになりました。母校野球部の躍進を期待するとともに、後輩たちの健全な成長と、野球界の発展を心から願つて結びとさせていただきま

で年間最優秀選手に選ばれただことが報道されていました。自分たちが野球に打ち込んでいた頃は、年間最多安打記録の更新だったり、第2回WBCで韓国との決勝戦、延長でタイムリーヒットを打つたりするなどメジャーの主役はイチロー選手でした。自分たちの高校野球のエピソードは最近のことのように色濃く覚えていますが、卒業してから13年と数字で表し、メジャーで活躍する選手の移り変わりを見ると時間の経過を感じます。

現在私は、高畠町内の小学校で教員として勤務しています。日々子どもたちと向き合う中で、会話が多く登場するのが野球の話題であり、イチロー選手のことです。

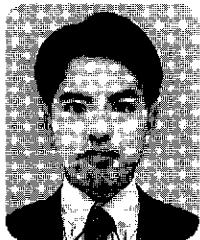
その野球を始めたきっかけは、親がやっていたからでした。なんとなくやっていた野球がかつていいと思えたのは体験入部のとき。見学したグラウンドには、一つ

一つに意味のある動きや

声、体つきが違う先輩たちが醸し出す緊張感、自分たちで考え行動する姿、圧倒される練習の質と量など全てに魅了され、スタートを切ったことを鮮明に覚えています。

もちろん、それまでなんとなく野球をやっていた私にとって、日々の練習についていくだけで精一杯でした。ただ、その当時の自分なりにチームに貢献する方法を考え、目標を立てながら思考を伴う野球ができるようになつていったと思ひます。振り返ったときに成長できたと思えるのも、手本を示してくれる先輩方、頑張りを認めあえる同級生、そして任せて見守るときと、叱咤激励のバランスを取りながら導いてくれる吉田監督、秋葉部長、信敬先生のおかげです。

子どもたちに話す話題に取り上げるのも、高校野球を通して、目標を意識し、一つ一つの行動を考え、継続することの楽しさを感じることができたからです。また、イチロー選手も目標



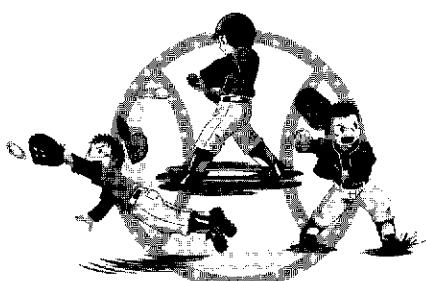
## 野球部で学んだこと

(平成20年度卒)

小 関 健太郎

締め切り間際にこの原稿を考えていると、テレビの

ニュースでは、メジャーリーグで大谷翔平選手が満票



最後になりますが、OB会の皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念いたしますとともに、現役選手の皆さんのご活躍を応援しております。

り、高校野球に打ち込んだ2年半に自信が持てるからです。社会人になった私の生き方・考え方の柱になつていることを感じます。これからも小学校教員として、野球に貢献できる方法を探して行動していきたいと思います。

関わる方々に会わせていました  
だいたのですが、待遇面で  
あつたり、話を聞く中で想  
像する仕事感だったりが、  
自分が本当に行きたい業界  
ではないと判断し、違う業  
界を志すことにしました。  
もともと服が好きという  
点。文系出身の私でもモノ  
づくりに関われる点に興味  
を惹かれ、繊維（アパレル）  
業界を志望することとしま  
した。業界の中でも、海外  
を飛び回る先輩社員にあこ  
がれを抱き、商社を志望し、

今年の1月から織維事業本部が日鉄物産から独立し、三井物産アイティッシュヨンと合併することとなりました。人生何があるかわかりません。正直、業界としての未来も感じておらず、社会人としての転機かと思いい転職を考えております。キャリアアドバイザーの方と何度もお話しさせていただき、次の職業を考えているのですが、なかなかしたい職業が見つかっていません。

学は生活の中心に野球があつて、社会人では生活の中  
心が仕事に移り変わつて、今その仕事を変えようとす  
るとなかなか腰が重いです。野球も仕事も真剣にや  
りながら、何かもう一つ真剣にできることを見つけて  
いたら、もう少し次のステップに踏み出しやすくな  
っていたかもしれません。人生何があるかわからないの  
で色々なことに睡をつけておこうと思つた次第です。

社会人最初の節目？

平成26年度卒



この度は 興講館CB会報の原稿依頼をいただき誠にありがとうございます。  
近況報告の前に、簡単に経歴を記載させていただければと思ひます。

2018年に日鉄物産株式会社に入社しました。入社後は、メンズ衣料部というメンズセレクトショップにおける営業を担当し、現在も働いております。あこがれ

戦苦闘している最中です。そんな私が気になる業界は、コンサル業界とIT業界です。ざっくりとしたイメージでしかないのでですが、コンサル業界は定期的にプロジェクトが変わり、様々な業界・企業の知見を増やすことができる点に興味があります。IT業界は、これからまだまだ伸びる点に興味があります。IT\*〇〇とかA I \*〇〇なんてよ

今、この時になつて思うのは、もう少しいろいろなことをしていれば良かつたかなと思います。高校と大学は生活の中心に野球がつて、社会人では生活の中心が仕事に移り変わつて、今その仕事を変えようとするととなかなか腰が重いです。

自立・自律が求められたシーズンを振り返って

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響に大きな  
振り回されたシーズンでした

監督 吉田真悟

### 3年主将からのご挨拶

瑞光

（米漢）由出身  
ボンジョン・ゼカンジ

を通して、自分の役割を果たすために何ができる

## 興譲館野球部OB会会報

めに」を合言葉に、練習時間の短縮を余儀なくされたり、直前に練習試合が中止になつたりと調整することが非常に難しい中での戦いが続きました。春季大会ではコロナウイルス感染のため出場辞退する学校もありました。そのような状況下でも、甲子園予選を見据えて3年生を中心として自分で3年生が悔しきを押し殺して、目の前に質の高い練習に取り組むことができました。それは、昨年度の3年生が悔しさを押し殺して、目の前に全力に取り組んでいた姿を見て、いるからでしょうか。やるべきことをやれる時に集中して取り組む、課題を明確にしてその克服のための練習法を工夫する。そういう自立・自律した選手の姿が随所に見られるようになりました。

手応えを感じながら迎えた甲子園予選でしたが、2回戦で同地区の米沢工業に敗れてしまい、今年度も目標は達成できませんでしたが、目的である「Win the respect!」には近づけたと確信しています。また、現山形県高野連事務局長吉田大治先生(本校野球部OB)

のお力添えもあり、3年生のマネージャー梅津愛佳が甲子園予選決勝戦でのアナウンスを、太田和佳は閉会式での選手誘導の大役を任せられました。マネージャー2名だけは決勝進出です。今年のチーム体制は、部長に大学(早稲田大)でも硬式野球部でプレーした志藤征多郎先生を新たに迎え、専属のトレーナーである黒田洋コーチとの経験者3名体制で指導しております。引退した3年生は選手8名とマネージャー2名、2年生は選手12名とマネージャー2名、1年生は選手7名とマネージャー1名です。現在は1、2年で選手19名、マネージャー3名で来シーズンでの活躍をイメージしながら、時間・場所の有効活用とコミュニケーション力アップのため4グループに分かれての基本練習、体力づくりに励んでおり、来年こそ目標達成します!

**【チームテーマ】** 8割力  
**【3学年テーマ】** 実践躬行  
**【新チームテーマ】** 進取果敢

**【令和3年春季大会】**

○1次予選 1回戦  
対置賀農業 16-12  
(5回コールド)

○1回戦  
対長井 6-17  
(5回コールド)

**【地区大会】**

○1回戦  
対九里 3-16  
○2次予選 代表決定戦  
対米沢東 18-8  
(5回コールド)

**【県大会】**

○1回戦  
対山形工業 1-17  
○2回戦  
対置賀農業 14-1  
(5回コールド)

**【第103回全国高等学校野球選手権山形大会】**

○1回戦  
対米沢工業 1-8  
(7回コールド)

**【令和3年秋季大会】**

○1次予選 1回戦  
対米沢中央 4-14  
(5回コールド)

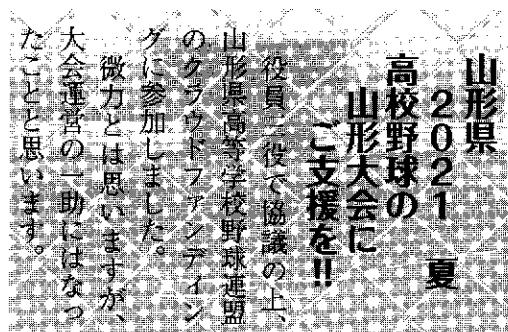
○2次予選 1回戦  
対長井 9-12  
(7回コールド)

米沢興譲館高校野球部  
**【目的】**  
Win the respect!  
【田 標】  
甲子園で校歌を歌う

**【追記】**

今年度はOB会より頂いた補助でバッタネット裏のスパーカーを補修しました。雨漏りによる屋根の凹みやカビが発生しており、漏電や資料の破損等が危惧されたためです。簡易的な補修では2、3年後にまた補修が必要になると専門家の意見を聞き、保護者会の補助も受けながらの大規模な補修となりました。グラウンドに立ち寄られた際には、リノベーションされたスパーカーハウス(監督室?)に入つていただき、選手の頑張っている姿を間近でご覧いただき、ご指導、叱咤激励をお願いします。

以上に心身ともに幼さの残る選手ばかりです。また、大会を通じて投手を中心とした守備力の綻びが多くみられました。しかし、来年の春にはOBの皆さんに応援、期待していただける人間、野球選手、そして興譲館高校野球部になつているはずです。3年生も自分の進路実現に向けて、現在猛勉強中です。いつか、日本で、世界で活躍してくれるでしょう。



山形県 2021 夏 高校野球の山形大会にご支援を!!

のクラブアントレイングに参加しました。役員へ後で協議の上、山形県高等学校野球連盟

大会運営の一助にはなつたことと思います。

## 令和3年度米沢興譲館高等学校野球部名簿

監督:吉田真悟 部長:志藤征多郎 顧問:  
トレーナー:黒田洋

学年	氏名	出身校	学年	氏名	出身校	学年	氏名	出身校
13年	佐藤琉光	米沢二	2年	佐藤慶太郎	川西	1年	片桐幹人	米沢三
23年	地主修平	米沢四	2年	地主宗人	米沢四	1年	五賀雄大	米沢二
33年	梅津愛佳	米沢四	2年	富樫真緑	川西	1年	竹田悠人	沖郷
43年	太田和佳	南原	2年	青木凰介	米沢四	1年	寒河江雄介	米沢二
53年	田中瞭賀	米沢三	2年	金子友哉	米沢六	1年	三浦友一	米沢四
63年	西山幹太	赤湯	2年	酒井一穂	小国	1年	安原慈人	米沢四
73年	柴田恭平	高畠	2年	山崎遙斗	米沢二	1年	高橋琉徳	飯豊
83年	高橋大輝	米沢六	2年	吉田大輝	沖郷	1年	吉田史佳	高畠
93年	森玄	赤湯	2年	宇津木暖大	飯豊			
103年	鈴木啓太	米沢三	2年	鈴木波琉	米沢二			
11				地主臣人	米沢四			
12				渡部拓真	米沢七			
13				大富桃子	飯豊			
14				原田健伸	米沢二			
15								

## 学年代表幹事

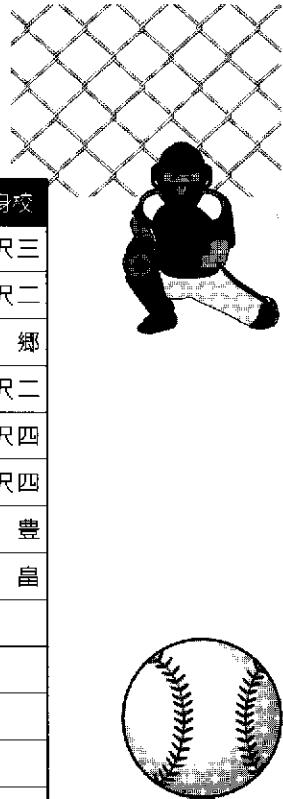
卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名
S44	布川裕行	H1	鈴木雅満	H21	土屋岳
S45	高梨衛	H2	渡部晃央	H22	井上尚人
S46	永井隆	H3	齊藤真徳	H23	小関直紀
S47	遠藤敬	H4	地主忠亮	H24	神保智貴
S48	宇津江信彦	H5	吉田大治	H25	歌丸裕彬
S49	池内正一	H6	小林健也	H26	渡部晃史
S50	竹俣兼一	H7	井上友和	H27	土屋賢
S51	栗林雄二	H8	金沢凡子	H28	小林哲也
S52	大河原敦	H9	遠藤謙司	H29	梅津謙吾
S53	井上恭男	H10	相田洋一	H30	鈴木耕太朗
S54	大越路可	H11	齋藤慎太郎	R1	武井作斗
S55	後藤利明	H12	丸山信輔	R2	情野太陽
S56	山田和男	H13	平健一郎	R3	佐藤琉光
S57	大武義孝	H14	嘉藤之浩		
S58	中沢秀隆	H15	佐藤勝治		
S59	吉田直史	H16	戸田怜		
S60	菅原浩	H17	小野裕介		
S61	後藤篤也	H18	淀川竜也		
S62	井上武司	H19	菅野英志		
S63	村田和彥	H20	福嶋なつみ		

## 野球部OB会役員紹介

令和3年度～令和4年度

役員名	氏名	卒業年
顧問	駒形衛	S25
顧問	高野譲	S29
顧問	小野隆夫	S34
会長	遠藤敬	S47
副会長	栗林雄二	S51
兼事務局長	井上恭男	S53
理事	荒澤芳治	S54
理事	大越路可	S54
理事	堤和司	S55
兼事務局補助	我妻弘一	S61
理事	吉田大治	H15
理事	佐藤勝治	H15
理事	小野裕介	H17
理事	神保光貴	H18
監事	安達治雄	S33
監事	齋藤隆志	S42

上記役員にて、令和3年度、4年度を務めることを承認お願いいたします。



**事務局より 令和3年度 米沢興譲館野球部OB会予算・決算書**
**令和3年度 予算書**

自：令和3年7月1日 至：令和4年6月30日

単位：円

**一般会計**

収入の部			支出の部		
科 目	予算額	摘要	科 目	予算額	摘要
前年度繰越金	172,639	郵便 56,181 信金 116,458	総会費	0	
維持会費	800,000	1口 5,000円 160口	総会準備費	100,000	総会中止案内等 郵送料
卒業生入会金	30,000	R3年度 卒業生 10名	120周年記念事業	550,000	現役生へユニフォーム等贈呈 記念タオル予定
総会会費	0		激励費	20,000	
役員会	20,000		活動支援費	150,000	活動援助金
記念事業費取崩金	300,000		会報発行費	130,000	会報印刷費 原稿依頼料送料
卒業生貸付金	50,000		OB連合会関係費	10,000	賛助金 運営協力金
預金利息	11		特別積立金	100,000	特別会計に積立
			役員会議費	20,000	
			郵便為替手数料	15,000	郵便為替手数料 印字サービス料
			事務用品費	10,000	タックシール・ トナー等
			通信費	5,000	アンケート郵送 料等
			予備費	262,650	
合 計	1,372,650		合 計	1,372,650	

**特別会計**

単位：円

収入の部			支出の部		
科 目	予算額	摘要	科 目	予算額	摘要
前年度繰越金	1,260,888		取崩額	300,000	
特別積立金	100,000		次期繰越金	1,060,900	①
卒業生貸付金	0				
預金利息	12				
合 計	1,360,900		合 計	1,360,900	

**卒業生貸付金（1口）**

単位：円

科 目	回 収	摘要
H 22 年 度 卒 業 生	50,000	
貸 付 金 次 期 繰 越 金	50,000	②
特別積立金+卒業生貸付金	1,110,900	(①+②)

**令和2年度 収支決算書**

自：令和2年7月1日 至：令和3年6月30日

単位：円

**一般会計**

収入の部			支出の部		
科 目	決算額	摘要	科 目	決算額	摘要
前年度繰越金	119,112	郵便 90,604 信金 28,508	総会費	0	
維持会費	790,000	1口 5,000円 158口	総会準備費	89,086	総会中止案内等 郵送料
卒業生入会金	27,000	R2年度 卒業生 9名	120周年記念事業	257,345	現役生へユニフォーム等贈呈
総会会費	0		激励費	0	
役員会	0		活動支援費	150,000	活動援助金
記念事業費取崩金	0		会報発行費	134,430	会報印刷費 原稿依頼料送料
卒業生貸付金	0		OB連合会関係費	10,000	賛助金 運営協力金
預金利息	0		特別積立金	100,000	特別会計に積立
			役員会議費	0	
			郵便為替手数料	14,423	郵便為替手数料 印字サービス料
			事務用品費	5,669	タックシール・ トナー等
			通信費	2,520	アンケート郵送 料
			予備費	172,639	郵便 56,181 信金 116,458
合 計	936,112		合 計	936,112	

**特別会計**

単位：円

収入の部			支出の部		
科 目	決算額	摘要	科 目	決算額	摘要
前年度繰越金	1,160,878		取崩額		
特別積立金	100,000		次期繰越金	1,260,888	①
卒業生貸付金	0				
預金利息	10				
合 計	1,260,888		合 計	1,260,888	

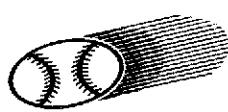
**卒業生貸付金（1口）**

単位：円

科 目	回 収	摘要
H 22 年 度 卒 業 生	0	
貸 付 金 次 期 繰 越 金	100,000	②
特別積立金+卒業生貸付金	1,360,888	(①+②)

上記、収支決算について帳簿等を監査の結果、その内容は正確であり適正であったことを認めます。

令和3年7月11日



*Baseball*

## 米沢興譲館高等学校校歌



明るく希望にみちて (M.M. = 84前後に)  
作詞 池田一郎  
作曲 細谷一  
1. だいてんのあづまをみればあ  
おぞらにたたなわるく  
もしらしくのぞみぞそそるあ  
あこうじょうこうじょうのわれらがもーねに

三、  
人みなみの命をあがめ  
わが力わが誠  
世のために尽くさんこれぞ  
ああ興譲 興譲のわれらも励め  
一、  
大蘿の吾妻を見れば  
青空にたたなわる  
雲白く望みぞそぞる  
ああ興譲 興譲のわれらが胸に

**令和2年度 OB会会費納入者**  
 (令和3年6月30日現在) (50音順)

も会報を予定通り会員皆様にお送りすることができました。この度も貴重なご寄稿をいたいたい会員各位には深く感謝申し上げます。

新型コロナの影響で、当初計画していた事業が計画通り実施されず、大変残念な年となってしまいましたが漸く明るい兆し（油断が出来ませんが）を感じられます。来年は、コロナを吹き飛ばし、無事滞りなく事業が行われ会員OB諸氏に喜って参加していただき、旧交を温め合っていたらけることを期待しております。

野球部創設120周年を迎えて、役員及び事務局にて事業を進めておりま

編集後記

今年度の維持会費の納入に関するところ、令和3年度予算の維持会費予定額を大幅に下回っています。

も多数口でのご協力を是非お願  
願いしたいと思います。  
また、今まで一度も納入い  
ただけなかつた会員の皆様に  
は、なにとぞ一 口でもご協力  
いただきたくお願い申し上げ  
ます。

同封の振込用紙で、お早目  
の納入をくださるようお願  
いたします。

も会報を予定通り会員皆様にお送りする」ことがで  
きました。  
この度も貴重なご寄稿  
をいたいたいた会員各位に  
は深く感謝申し上げま  
す。

新型コロナの影響で、  
当初計画していた事業が  
計画通り実施されず、大  
変残念な年となってしまった  
いましたが漸く明るい兆  
し(油断が出来ません)が  
を感じられます。来年は  
コロナを吹き飛ばし、無  
事滞りなく事業を行わ  
れ会員OB諸氏に奮って参  
加していただき、旧交を  
温め合つていただけるこ  
とを期待しております。

野球部創設120周年  
を迎へ、役員及び事務局  
にて事業を進めておりま

二野球部創設120周年  
の足跡を残すべく尚一層  
頑張りたいと思います。

また、米沢興譲館同窓  
会ホームページにて、野  
球部に関わる情報を発信  
し、広くアピールして行  
きたいとも考えておりますので、ご意見等ござい  
ましたら連絡ください。

下992-0054  
米沢市城西4-4-16  
井上恭男  
(昭和53年度卒)  
メールアドレス  
yasu830@begep.pala  
or.jp

米沢興譲館高等学校野球部OB会会員各位

### 令和3年度維持会費納入のお願い

初冬の候、会員各位には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。  
さて、我が興譲館高校野球部OB会も会員皆様のご協力のおかげをもちまして、  
コロナ禍で肅々と活動を続けております。

今年度も、新型コロナウィルスの影響で従来通りとはいえませんが、各種大  
会が開催されました。現役生には、全力で青春を謳歌し持てる力を發揮してほ  
しいと思います。

OB会員様のご協力で、下記のような支援を行い大変喜ばれているところです。  
主な現役野球部への支援

平成25年度	バッティングマシーン購入資金	500千円
平成26年度より平成28年度まで	活動支援金	100千円
平成29年度より令和2年度継続	活動支援金	150千円
令和元年度	スコアーボード、バックネット裏及び照明交換工事資金	600千円
令和2年度より	部員へのユニフォーム贈呈（継続事業として）	
令和2年度	活動支援費にてバックネット裏監督室等屋根補修工事	

本会の維持会費につきましては、ご承知の通り、一口5,000円になって  
おりますが、是非とも多数口でのご協力を是非お願いしたいと思います。

同封の振込用紙で、お早目の納入をいただけるようお願い申し上げます。

是非、後輩の活躍にご声援下さい様併せてお願ひいたします。

令和3年12月吉日

米沢興譲館高等学校野球部OB会

会長 遠藤 敬

事務局長 井上 恭男

昨年の口数を下まわらないようご協力願います。

同封の振込用紙で2月末日まで納入ください。

ご協力お願いいたします。